

# 医療センターニュース

編集：三重県立総合医療センター広報紙編集委員会

<http://www.mie-gmc.jp/>

〒510-8561 四日市市大字日永5450-132 TEL(059)345-2321(代表)

E-mail:sogohos@mie-gmc.jp

## 防災訓練(NBC訓練)を実施します

当院は、県内唯一の基幹災害拠点病院として、大規模災害発生時に職員一人ひとりが自覚と責任を持って、最適な医療救護活動が行えるよう、毎年、定期的に防災訓練を行っています。

11月5日(土)には、NBC(Nuclear=核兵器、Biological=生物兵器、Chemical=化学兵器)災害が発生した場合に、職員が迅速・確実な対応が行えるように、実技訓練を行います。

当日は、市内で水様性の薬品を曝露した患者さんが多数発生したとの想定のもと、現場で一次除染※1され当院へ搬送される患者さんや、曝露後にご自身で来院される患者さんを、当院救急外来出入口前に設営した除染テントにおいて、除染が必要かどうかの振り分け、状況に応じた患者さんへの除染作業、除染後のトリアージ※2等を行い、院内へ受け入れるまでの手順の確認等を行う予定です。

今回の訓練を通じて、除染に関する知識を深めるとともに適切な対応が行えるよう、いつ起きるかわからないNBC災害に備えていきたいと考えています。

※1 除染とは、曝露した薬品等の汚れを洗浄や乾燥により落とすことです。

※2 トリアージとは、負傷者の緊急度や重症度に応じて4段階に分け、治療や後方搬送の優先順位を決めることです。



昨年の訓練の様子

## 県立総合医療センターの基本理念・基本方針

### 基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

### 基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

## もくじ

防災訓練(NBC訓練)を実施します……………1	生活習慣病・糖尿病教室のご案内……………3
脳血管内治療科について……………2	当院の協力病院(連携医療機関)紹介 医療法人 博仁会 村瀬病院 ……4
「院外処方」へのご理解・ご協力をお願いします……3	

# 脳血管内治療科について

脳血管内治療科部長 梅田 靖之

脳血管内治療科は脳、頸部、脊髄の血管性疾患を血管の中からカテーテルを用いて治療する診療科です。血管内治療は通常、足の付け根の血管にシースと呼ばれるチューブを挿入し、その中を通して3mmほどのガイディングカテーテル、さらにその中に1mm弱の非常に細いマイクロカテーテルを通し、病変部に到達して治療を行います。そのため従来の開頭術などと比べ、低侵襲で治療を行うことが可能であり、患者さんの入院期間短縮や早期社会復帰などが可能です。



## 【主な対象疾患】

- 脳動脈瘤
- 内頸動脈狭窄症
- 鎖骨下動脈狭窄症
- 急性期脳梗塞(脳主幹動脈閉塞症)
- 脳動静脈奇形
- 硬膜動静脈瘻

その他にも髄膜腫などの術前腫瘍塞栓術、頭蓋内主幹動脈狭窄症などがあります。



## 【代表的な疾患の血管内治療】

### ● 脳動脈瘤…瘤内コイル塞栓術

動脈瘤内にプラチナコイルを留置することで動脈瘤の破裂を予防します。

くも膜下出血の原因は8~9割が破裂脳動脈瘤ですが、破裂脳動脈瘤に対しても血管内治療は有用であり、ISATやBRATといった世界的研究でも証明されています。治療成績向上や早期社会復帰に役立っています。

未破裂脳動脈瘤に対しても低侵襲であることから広く普及し、安全な手術手技が確立されています。一般的には全身麻酔で行いますが、局所麻酔でも可能なため、全身麻酔のリスクが高い患者さんでも治療可能です。手術時間は動脈瘤の大きさにもよりますが3時間程度で、約1週間で退院できます。

ただし、再発(コイルが圧縮され瘤内に血流が再開してしまう)に関しては、開頭術に劣ります。特に大型のもの、動脈瘤頸部の広いものなどは再発リスクが高くなります。

### ● 内頸動脈狭窄症…頸動脈ステント留置術

心筋梗塞に対するカテーテルを用いた風船治療(経皮的冠動脈形成術)と同じ要領で、血管の中から風船(バルーン)付きのカテーテルを用いて狭窄部位を拡張し、そこにステントという金属でできた網目状の筒を留置する治療です。一般的には局所麻酔で2時間程度の治療です。足の付け根からカテーテルを挿入し、細くなった血管を風船で広げて、ステントを留置します。治療器具の発展とともに、治療成績も向上し、最近の研究では従来からの頸動脈内膜剥離術と比較してもほぼ同等の治療成績が期待できるようになってきました。ただし、非常にプラークが大きいものや血管の石灰化が高度なものなどは不向きです。

### ● 急性期脳梗塞

発症4.5時間以内の脳梗塞に対してはtPA静注による血栓溶解療法が有効ですが、脳梗塞の中でも心原性塞栓症などによる主幹動脈閉塞は血栓量が多く、tPA静注だけでは再開通が得られないことがあります。主幹動脈閉塞に対する血管内治療による血栓回収術の有効性は近年数多く報告され、tPA静注療法に引き続き血管内治療を行うことが全世界のスタンダードになりました。"Time is Brain"と言われるように一刻を争う治療ですので、当院では神経内科、救急科との共同治療体制が既に構築されており、できるだけ迅速に治療を受けてもらうことができます。

当科では患者さんにとって最も良い治療法の選択肢のひとつとして血管内治療を提供します。当院は低侵襲だけではなく、安全、確実な治療も目指しています。血管内治療と外科的治療のどちらが適しているかについては脳神経外科カンファレンスで検討し、個々の患者さんに対してテーラーメイドな治療が提供できることを目指しています。

## 「院外処方」へのご理解・ご協力をお願いします

わが国では、それぞれの専門性を発揮することで医療の質的向上を図るため、医師が患者さんに処方箋を交付し、薬局の薬剤師がその処方箋に基づいて調剤を行う「医薬分業」が原則となっており、これまで当院においても、外来患者の皆さんに、院外処方での対応をお願いしてきました。

さらに近年、国においては、従来の門前薬局のあり方を見直し、患者さんの服薬状況を一元的・継続的に把握して指導等を行うとともに、かかりつけ医に患者さんの服薬情報等を提供し、必要に応じて処方提案等を行う「かかりつけ薬局」への移行を進めています。

皆さんが、「かかりつけ薬局」をお持ちいただくことで、複数の薬局で処方される薬剤の間で起きる危険な相互作用（飲み合わせ）の防止や、同様の効能を有する薬剤の重複処方を防ぐことによる医療費の削減につながる等のメリットもあります。

このような趣旨に鑑み、今後、当院では、外来患者の皆さんの調剤について、可能な限り院外処方での対応をお願いさせていただくこととしますので、皆さんのご理解・ご協力をお願いいたします。



## 生活習慣病・糖尿病教室のご案内 **シーズン2です!**

～ **楽しく学ぼう! 生活習慣病!** ～  
上半期のコースよりも、さらに内容を充実させました。ぜひ、ご参加ください。

場所：県立総合医療センター7階講堂  
時間：14時00分～15時30分  
講師：当院医師・薬剤師・看護師・理学療法士・栄養士など♪

開催日	講義内容
【第1回】 10/19水	「すべての病気は生活習慣から」「食事療法について」「基本的な運動療法について」
【第2回】 11/30水	「糖尿病ってどんな病気?」四日市糖尿病クリニック 院長：水林 竜一医師 特別講義! 「食物繊維について」「病院のくすりは怖い?怖くない?～飲み薬編」
【第3回】 12/21水	「検査でわかる糖尿病」「アルコールについて」「スキンケア・フットケア」
【第4回】 1/18水	「糖尿病の合併症って怖い?」四日市糖尿病クリニック 院長：水林 竜一医師 特別講義! 「飲み物について」「病院のくすりは怖い?怖くない?～インスリン編～」
【第5回】 2/22水	「生活習慣病を克服」「外食について」「検査でわかる合併症」
【第6回】 3/15水	「口腔ケア・日常生活の楽しい過ごし方」「おやつについて」「座ってできるストレッチ体操」

★どの回からも参加できます。講義の内容は変更される場合がございます。

**参加費無料!**

**【申し込み方法】**

内科外来窓口もしくは玄関入口の地域連携課「かけはし」でお受けいたします。※**当日参加も歓迎です!!**  
連絡先：地域連携課かけはし 059-345-2321(代)

## 地域医療機関の先生方へ

### 救急外来への患者さんの紹介についてお願い

救急外来へご紹介いただく患者さんの状態は、一刻を争うことが多々あります。正確な情報が必要となりますので、地域連携課を通さずに、**代表電話(059-345-2321)**を通して、救急外来担当医師と直接お話をくださいますようお願いいたします。

# 当院の協力病院(連携医療機関)紹介 第29回

医療法人 博仁会 村瀬病院 院長 井阪 直樹

## 診療科目

内科、循環器内科、心臓血管内科、消化器内科、胃腸内科、糖尿病内科、腎臓内科、内視鏡内科、人工透析内科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、外科

## 外来受付時間

9:00 12:00	月	火	水	木	金	土	日
13:00 15:00	月	火	水	木	金	土	日
16:00 20:00	月	火	水	木	金	土	日

※1 土曜日は、13:00～17:00まで

※整形外科は、

月・水・金曜日

9:00～12:00、16:00～20:00

火曜日

9:00～12:00、17:00～20:00

木・土曜日

9:00～12:00

※他科については、別途お問い合わせ下さい。

## 休診日

日曜日・祝日・年末年始



## 所在地

〒513-0801

鈴鹿市神戸三丁目12-10

TEL 059-382-0330



当院は1957(昭和32)年に地域密着型病院として設立されました。内科では循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、腎臓内科にそれぞれ認定専門医が在籍しています。

整形外科は脊椎、関節を中心に県下でも1、2の手術数があり、県内全域から患者さんが来られます。

### ● 県下の脊椎外科のリーダーシップを担う整形外科

当院の整形外科は関節、脊椎、外傷などの専門的知識、経験豊富な医師が積極的に検査治療を行い、最先端の安全な医療を提供しております。

関節疾患による痛み、関節が動かしにくくなり動作が困難になった場合、また、脊椎脊髄疾患によって、腰痛や、しびれ、感覚、筋力低下にて上肢下肢が動かしにくくなり、日常生活の動作が困った場合に、十分な検査を行い、確かな診断を行っています。そしてその治療方法を本人、家族と相談して決めております。

### ● 藤田保健衛生大学病院として先進的回復期リハビリテーション科

当院リハビリテーション科は、藤田保健衛生大学リハビリテーション教室の派遣施設になっており、リハビリ専門医の指導下で、豊富な理学療法士、作業療法士の下、回復期リハ病棟スタッフとの綿密なチームワークで、脳血管障害、外傷性脳損傷、脊髄損傷、関節リウマチ、整形外科疾患、呼吸器疾患など幅広い領域に対応し、疾病や障害の評価・治療・リハビリテーションゴールの設定、理学療法、作業療法、義肢・装具等の処方など、多岐に渡って行っています。また、当院では食事の際にむせたり、飲み込むのに時間がかかってしまうなどの摂食嚥下障害の方に対して、嚥下造影検査(VF)を実施し、客観的に評価することで、結果をふまえて今後の食事形態や食事時の姿勢の調整などを決定し、安全に楽しく食事が行えるようなお手伝いをしています。

### ● 力を入れている糖尿病医療

われわれは鈴鹿地区で唯一の糖尿病専門施設です。とりわけ高齢者への糖尿病医療に軸足を置くことを基本としており、医師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、作業療法士、理学療法士、ケースワーカーなどが、プロジェクトチームを組んで対応しています。

その一環として月に2回、外来で糖尿病教室を開いています。糖尿病の患者さん、ご家族、糖尿病に興味のある方を対象に開催し、糖尿病の予防、治療、合併症などのテーマに沿ったプログラムを組んでいます。

また、専門医による講演も年に2回開催しています。これらの活動は地域に貢献していると感じていますし、今後も力を入れていきたいと思っています。

これからも地域の人たちに求められ、愛される病院でありたいと思っています。